

# 競技力向上事業について

スポーツ課

## 1 事業目的

県民のスポーツに対する関心とスポーツ活動への参加意欲を高めるため、国民体育大会等の全国大会やオリンピック等の国際大会で活躍が期待される県内選手の育成・強化、指導者の養成及び練習環境の整備等により競技力の向上を図る。

## 2 事業内容

### (1) 選手強化事業 109,653千円

- |  |
|--|
| <b>ア 国体種目強化</b> 71,970千円   |
| 事業概要：国体をはじめとした全国規模の大会で、県代表選手が優秀な成績を収められるよう競技力の向上を図る。   |
| 対象経費：強化合宿・遠征、指導者養成及び競技用具整備等に要する経費、馬匹管理   |
| <b>イ オリンピアン育成支援</b> 3,633千円  |
| 事業概要：オリンピック等、今後の国際大会で活躍が期待される競技・選手の育成を支援する。  |
| 対象経費：海外合宿や全国レベルの強化練習会等への派遣、次世代トップアスリートの育成等に要する経費   |
| <b>ウ マルチサポート</b> 2,066千円   |
| 事業概要：国体県代表となった選手・チームの事前合宿や大会本番にサポートチームを派遣し、コンディショニング調整を支援する。                                 |
| 対象経費：国民体育大会及び合宿練習等への支援にかかるドクター・トレーナー等に要する経費  |
| <b>エ ジュニア競技力向上</b> 16,388千円  |
| 事業概要：小学生期、中学生期、高校生期の各発達段階に応じた組織的・計画的な選手育成を行い、トップレベルの競技者を養成する。                                |
| 実施方法：重点強化校・クラブ等が実施する強化合宿・対外試合に要する経費  |
| <b>オ 第82回国体に向けた競技力向上特別対策事業</b> 15,596千円  |
| 事業概要：2027年に本県で開催を予定している第82回国民体育大会では、開催県としてふさわしい成績（天皇杯・皇后杯獲得）が収められるよう、チーム長野で計画的・組織的に競技力強化を図る。 |
| 実施方法：（1）競技力向上対策本部の運営費<br>（2）子どもの発育に合わせた選手発掘・育成プログラムの実施                                       |

### (2) 発掘事業 3,501千円

#### SWANプロジェクト 3,501千円

事業概要：長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用して、スキー、スケート、カーリング、ボブスレー・リュージュ・スケルトンで冬季オリンピックメダリストとなる資質を有する小学生等を発掘・育成する。

（平成21年度から実施 現在4～9期生まで68人育成中）

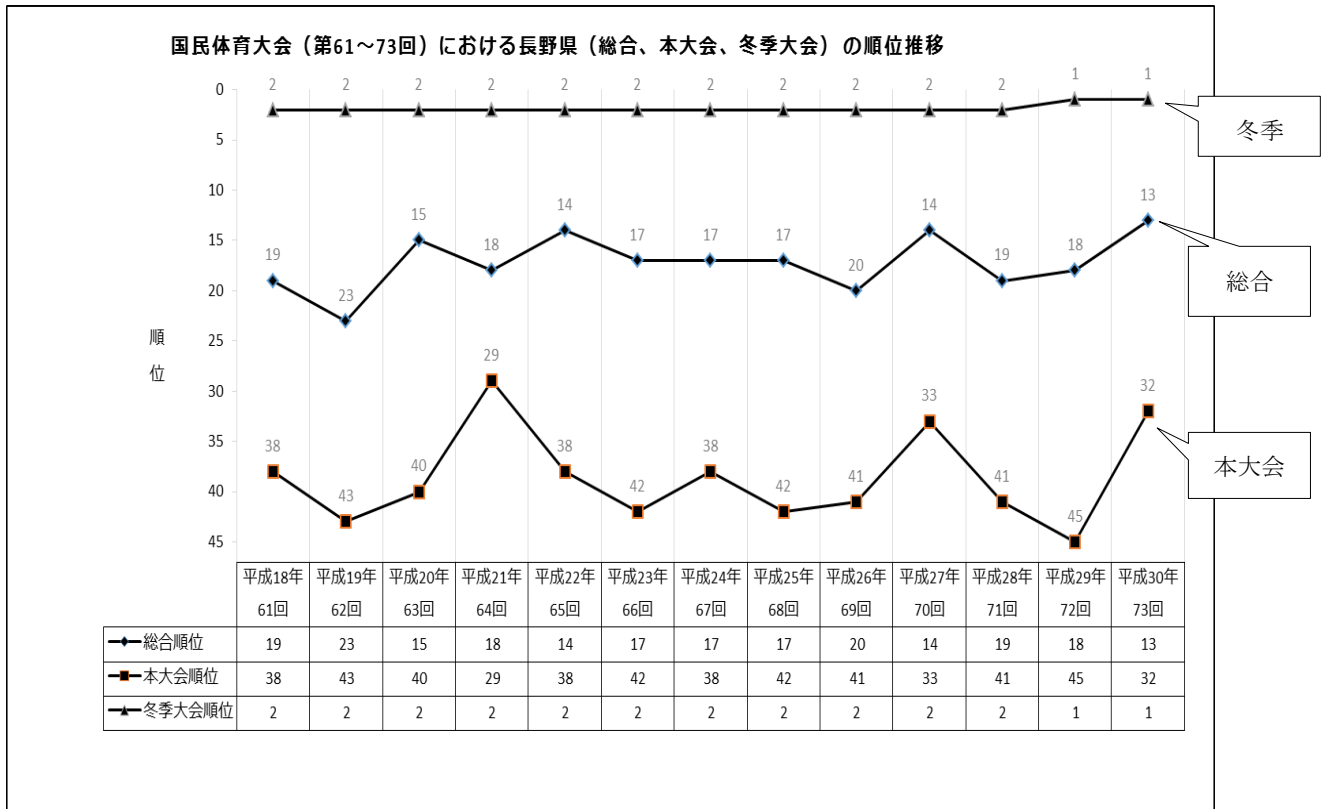
対象経費：フィジカル・心理学・栄養学からなる共通プログラム、競技団体による専門種目実技トレーニング、JOC等研修会、保護者向け研修会等に要する経費

## 3 平成30年度予算額 113,154千円

# 資料 1 (報告事項ア) 国民体育大会等の成績について

スポーツ課

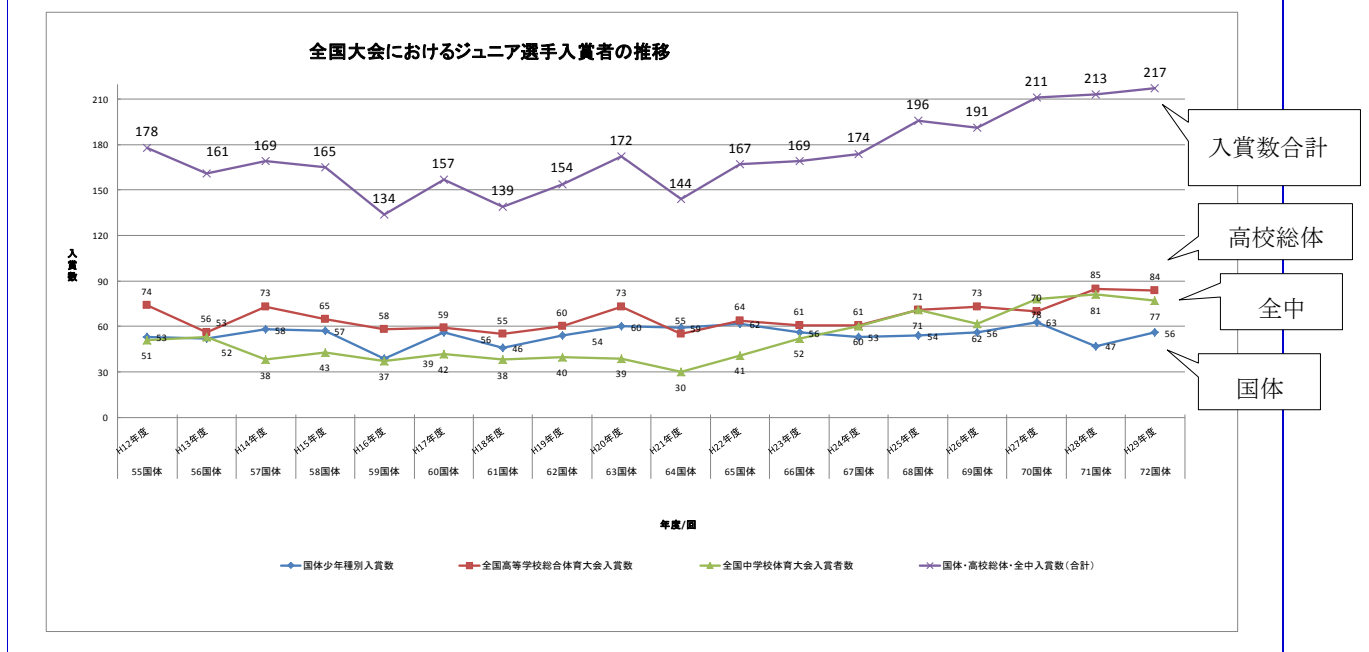
## 1 国体成績について



## 2 全国大会におけるジュニア選手の入賞者数

	55国体	56国体	57国体	58国体	59国体	60国体	61国体	62国体	63国体	64国体	65国体	66国体	67国体	68国体	69国体	70国体	71国体	72国体	73国体
	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
国体少年種別入賞者数	53	52	58	57	39	56	46	54	60	59	62	56	53	54	56	63	47	56	65
全国高等学校総合体育大会入賞者数	74	56	73	65	58	59	55	60	73	55	64	61	61	71	73	70	85	84	※(38)
全国中学校体育大会入賞者数	51	53	38	43	37	42	38	40	39	30	41	52	60	71	62	78	81	77	※(14)
国体・高校総体・全中入賞者数(合計)	178	161	169	165	134	157	139	154	172	144	167	169	174	196	191	211	213	217	※(117)

※は、12月末までの入賞者数(冬季大会は含まず)



## 7 男女総合(天皇杯)・女子総合(皇后杯)成績

男女総合(天皇杯)				女子総合(皇后杯)			
順位	県名	得点	前回 順位	順位	県名	得点	前回 順位
1	福井	2896.00	7	1	福井	1462.50	8
2	東京	2246.00	1	2	東京	1280.50	1
3	大阪	1880.00	4	3	大阪	1046.00	3
4	埼玉	1825.50	3	4	愛知	1007.00	4
5	千葉	1708.50	8	5	埼玉	957.50	5
6	愛知	1687.50	6	6	神奈川	884.00	7
7	神奈川	1611.00	5	7	千葉	830.00	6
8	福岡	1468.00	9	8	福岡	815.00	10
9	北海道	1407.25	10	9	兵庫	814.00	9
10	兵庫	1312.50	12	10	愛媛	763.00	2
11	岡山	1288.50	16	11	長野	731.50	19
12	愛媛	1235.00	2	12	岡山	707.50	14
13	長野	1233.50	18	13	静岡	698.00	18
14	岐阜	1232.50	13	14	茨城	689.50	21
15	京都	1156.00	11	15	北海道	666.25	15
16	茨城	1120.00	23	16	鹿児島	647.00	23
17	鹿児島	1041.00	33	17	岐阜	646.00	13
18	広島	1033.75	15	18	広島	637.75	16
19	静岡	1033.50	17	19	京都	613.00	11
20	三重	995.50	27	20	三重	600.00	33
21	大分	974.50	25	21	群馬	591.50	17
22	富山	966.50	36	22	石川	581.50	30
23	石川	956.00	28	23	山形	575.25	25
24	岩手	939.50	14	23	富山	558.00	32
25	奈良	919.00	19	25	岩手	555.50	12
26	熊本	915.50	29	26	栃木	538.50	39
27	和歌山	912.50	26	27	熊本	537.50	23
28	栃木	875.50	21	28	香川	526.00	36
29	香川	859.50	30	29	大分	523.50	41
30	宮城	859.00	34	30	奈良	520.50	29
31	滋賀	854.50	39	31	山口	504.50	27
32	群馬	846.00	22	32	佐賀	504.00	38
33	佐賀	826.50	43	33	山梨	486.50	34
34	山形	817.25	31	34	長崎	485.00	22
35	山口	813.00	40	35	滋賀	471.50	42
36	山梨	803.00	37	36	宮城	466.00	37
37	新潟	792.50	32	37	和歌山	466.00	28
38	秋田	787.50	20	38	鳥取	459.50	31
39	宮崎	780.50	44	39	秋田	450.00	20
40	鳥取	751.00	42	40	宮崎	439.50	45
40	長崎	725.00	24	41	新潟	439.00	26
42	青森	692.50	35	42	沖縄	430.00	43
43	沖縄	655.50	45	43	青森	423.00	46
44	福島	654.00	41	44	徳島	415.50	44
45	徳島	607.50	46	45	福島	412.00	40
46	島根	533.00	38	46	島根	388.50	35
47	高知	506.75	47	47	高知	328.75	47

### 第73回国体における長野県と上位県との競技得点比較【参加点を除く】

	1県あたり 獲得可能 最高得点	競技種目	長野県	福井県	東京都	大阪府
			13位	1位	2位	3位
1	448	陸上	33.5	55.00	106.00	156.00
2	608	水泳	50.5	33.5	367.5	191.5
3	192	サッカー	20.0	64.0	56.0	20.0
4	96	テニス		24.0	21.0	21.0
5	288	ボート	28.0	264.0	134.0	10.0
6	256	ホッケー		196.0		
7	136	ボクシング	2.5	36.5	35.0	50.0
8	208	バレー	47.5	33.0	83.5	74.5
9	216	体操	30.0	150.0	50.0	75.0
10	160	バスケ	27.5		12.5	27.5
11	112	レスリング	37.0	43.0	56.0	10.0
12	144	セーリング		59.0	17.0	11.0
13	144	ウェイトリフティング	3.0	87.0	64.0	14.0
14	160	ハンドボール		47.5	60.0	
15	190	自転車	13.0	102.0	30.0	8.0
16	160	ソフトテニス		25.0	80.0	25.0
17	96	卓球		40.5	45.0	16.5
18	64	軟式野球		40.0	0.0	64.0
19	64	相撲		7.5		
20	184	馬術	23.0	82.0	45.0	7.0
21	144	フェンシング	3.0	57.0	75.0	21.0
22	120	柔道		12.5	70.0	35.0
23	256	ソフトボール	20.0	124.0		44.0
24	96	バドミントン		36.0	7.5	28.5
25	192	弓道	58.5	24.0	13.5	42.0
26	168	ライフル射撃	9.0	61.0	34.0	28.0
27	144	剣道		124.0	40.0	12.5
28	144	ラグビー		55.0	20.0	65.0
29	192	山岳		75.0	60.0	48.0
30	304	カヌー		93.0	46.0	
31	96	アーチェリー	15.0	30.0		48.0
32	120	空手道	5.0	111.0	6.0	45.5
33	48	トライアスロン		21.0	10.0	
34	48	クレー射撃		18.0	24.0	
35	96	なぎなた		75.0	18.0	78.0
36	268	ボウリング		30.0	15.0	61.5
37	72	ゴルフ		45.0	13.5	42.0
38	519	スケート	214.0	76.0	98.0	100.0
39	80	アイスホッケー	20.0	15.0	30.0	
40	324	スキー	173.5	24.0	3.0	
	7357	合計得点	833.5	2,496.0	1,846.0	1,480.0

★天皇杯獲得のための目標点  
(仮)2,200点  
(参加点を除く)

国体の競技得点								
順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
個人	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点
2~4人	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
5~7人	40点	35点	30点	25点	20点	15点	12点	5点
8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点

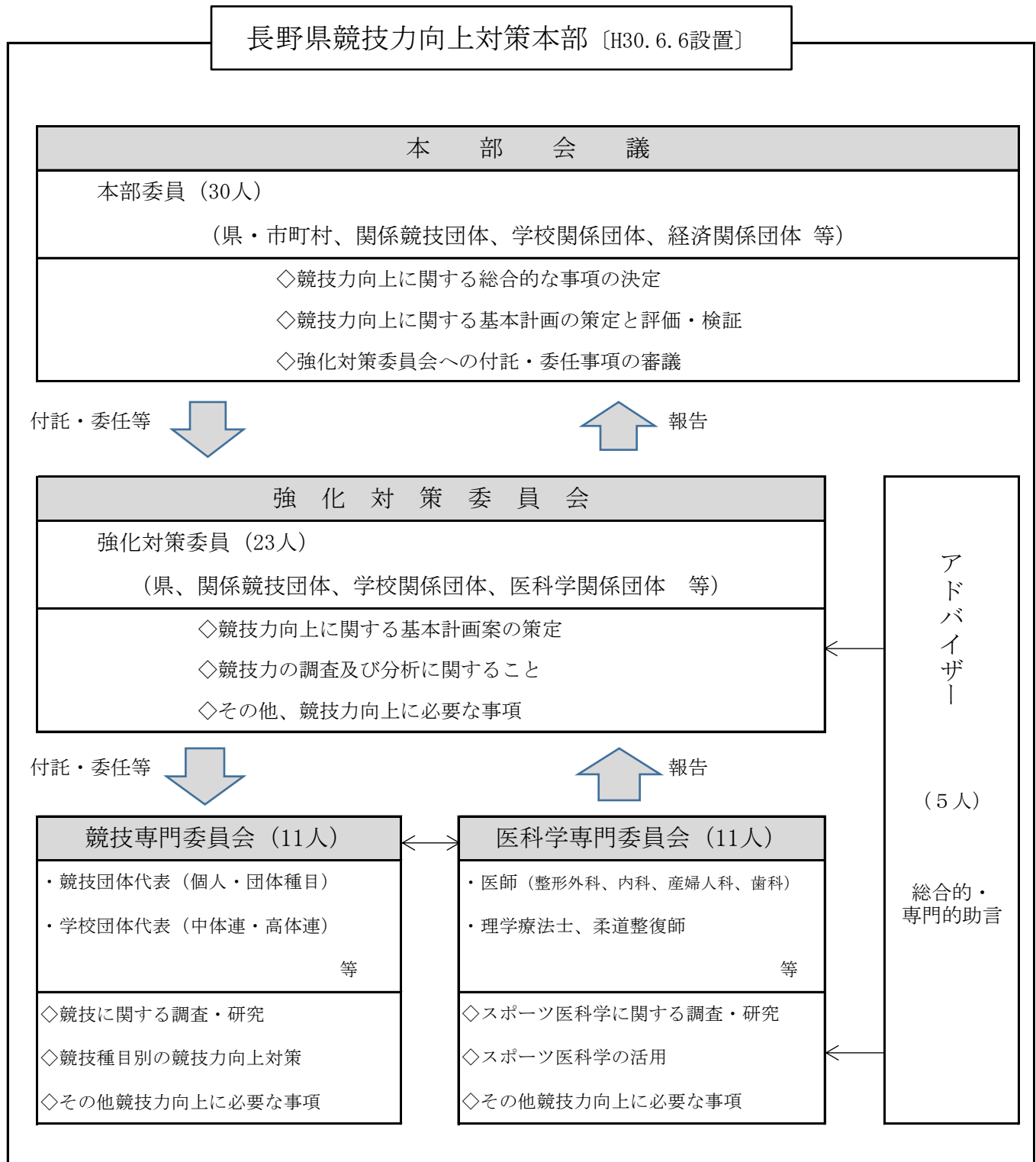
# 「長野県競技力向上対策本部」の設置について

スポーツ課

## 1 目的

2027年の第82回国民体育大会に向けた競技力向上を図るとともに、大会終了後も更なる本県スポーツの発展に寄与することを目的に「長野県競技力向上対策本部」を設置する。

## 2 組織



## 3 主な事業

- (1) 競技力向上対策事業【ジュニア選手発掘・育成】
- (2) 長野県競技力向上基本計画の策定

「長野県競技力向上対策本部」 委員について

【本部会議】

〔本部長：知事〕

※監事2名含む

区分	人数	構成団体
県	3	知事、教育長、会計管理者
県議会	1	文教企業委員会委員長
市町村関係	5	市長会、町村会、市町村教育委員会連絡協議会
スポーツ関係	9	県体協、スポーツ推進委員協議会、総合型クラブ連絡協議会、スポーツ少年団、オリンピック
学校関係	8	小学校長会、中学校長会、高等学校長会、私立中学高等学校長協会、中学校体育連盟、高等学校体育連盟、大学
経済団体	4	長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会
計	30	

【強化対策委員会】

〔委員長：荻原健司氏（オリンピック）〕

区分	人数	構成団体
県	1	教育次長
スポーツ関係	14	県体協、スポーツ推進委員、総合型クラブ連絡協議会、スポーツ少年団、オリンピック、プロスポーツチーム、競技団体
学校関係	6	中学校体育連盟、高等学校体育連盟、大学
医科学関係	2	長野県日スポ協公認スポーツドクター協議会、日スポ協公認アスレティックトレーナー長野県協議会
計	23	

【競技専門委員会】

〔委員長：荒井政弘氏（県ソフトボール協会）〕

区分	人数	構成団体
スポーツ関係	9	競技団体、総合型クラブ連絡協議会
学校関係	2	中学校体育連盟、高等学校体育連盟
計	11	

【医科学専門委員会】

〔委員長：倉石修吾氏（スポーツドクター協議会）〕

区分	人数	構成団体
医科学関係	11	長野県日スポ協公認スポーツドクター協議会、日スポ協公認アスレティックトレーナー長野県協議会、産婦人科医師会、歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会、柔道整復師会、鍼灸師会、栄養士会、メンタルトレーナー
計	11	

【アドバイザー】

区分	人数	構成団体
有識者	4	スポーツ庁、日本スポーツ協会（2名）、大学

## 競技力向上対策事業【ジュニア選手発掘・育成】

事業名	目的	対象	内容	実施時期・場所等 (予定)
<b>(1)スポーツ体験教室</b>	運動遊びから競技スポーツに取り組みきっかけづくりの提供する。	小1～小3 希望者 抽選で各100名	○地域に根差したし競技を3種目程度組み合わせ実施	○10月13日 松本:ゴルフ・ホッケー・ソフトボール ○12月2日 箕輪町:フェンシング・ホッケー・ラグビー ○2月11日(予定) 上田市:レスリング・アーチェリー・ラグビー・ボッチャ ○2月24日(予定) 松本市:ウェイトリフティング・バスケットボール・柔道・ラグビー
<b>(2)ジュニアアスリート発掘育成事業</b>	本県国体開催時の活躍や世界で活躍できるアスリートの発掘・育成する。	小4～小6 選抜 各学年10名 計30名程度	○一次選考 スポーツテスト  ○二次選考 運動能力測定  選考後 ○トップアスリート教育 ・各種のスポーツ体験 ・実技指導 ・運動能力測定・栄養指導 ・メンタルトレーニング ・語学教育 ・オリンピックの講演 等	○一次選考会 7月21日(長野市) 22日(松本市)  ○二次選考会 9月1日(長野市)  ○活動予定 9月下旬から3月まで 第1・3土曜日 15回程度
<b>(3)適性種目チャレンジ事業</b>	マイナー競技を知る機会を提供し、競技団体とともに、選手確保と競技力向上を図る。	中1～高3 希望者 人数制限なし	○新たなスポーツやもう1種目挑戦したい(シーズン制)と考えている中・高校生を募集。  ○競技人口が少なく、競技力が低迷している競技団体を中心に体験会を実施。  ○適性を見ながらの種目とのマッチング。	11月～2月 2地区で実施 中南信/東北信で1回
<b>(4)地域ジュニアスポーツ教室補助金</b>	ジュニアアスリート発掘育成事業の受け皿を作る。	国体競技種目	上記事業によりで発掘育成するジュニア選手が地域で活動できる環境づくりを進めるために、競技団体や地域のスポーツクラブなどと連携。	検討中

# ジュニアアスリート発掘・育成事業について

(NAGANO スポーツ☆キラキラっ子育成プロジェクト第1期生の認定)

スポーツ課

## 1 目的

県内の小学校4～6年生を対象に、優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、将来オリンピック等の国際大会や国体等の国内トップレベルの競技大会で活躍できるアスリートを育成する。(中学3年生まで)

## 2 事業主体 長野県競技力向上対策本部

## 3 選考結果

[第1次選考会]

日時	場所	受検者数	測定種目 (運動能力測定)
7月21日(土)	長野県立大学	355名	・10mスプリント ・垂直跳び
7月22日(日)	松本歯科大学	395名	・左右片足バランス ・折返し走
計		750名	・視角反応ステップ ・その場ダッシュ ・スイングスピード

【選考結果：100名が第2次選考会へ】

[第2次選考会]

日時	場所	受検者数	測定種目 (持久系能力テスト等)
9月1日(土)	長野県立大学	91名	・バランスチェック ・立ち三段跳び ・球技 (バスケット・サッカー) ・反復横跳び ・20mシャトルラン

【選考結果：44名が合格 (第1期生)】

## 4 認定式

(1) 日時 9月22日(土) 17:00～19:00

(2) 場所 松本大学

(3) 認定者数 44名

(4) 内容

- ・認定証授与
- ・パネルディスカッション (コーディネーター：荻原健司氏、パネラー：塚原直貴氏・箱山愛香氏)
- ・遠隔LESSシステム活用のためのタブレット端末貸与 (ソフトバンクとの包括連携協定事業)

## 5 育成プログラムの実施

下記の育成プログラムを月2回(第1・3土曜日 17:00～20:00)実施中。

- 身体能力育成プログラム (体幹トレーニングなど)
- 知的能力育成プログラム (メンタルトレーニングなど)
- 栄養学習育成プログラム (スポーツ栄養学、調理実習など)
- 保護者プログラム (保護者への情報提供プログラムなど)
- 競技体験選択プログラム (様々な競技体験を通じて、競技種目の適正判断など)



# NAGANOスポーツ☆キラキラっ子育成プロジェクト プログラム日程（案） 2018.11.30現在

	月 日	キラキラっ子育成プログラム	場 所
1	9/22 (土)	認定証交付式 + パネルディスカッション【司会：荻原健司氏 パネラー：塚原直貴氏・箱山愛香氏】	松本大学
2	9/29 (土)	メディカルチェック①【バランス・柔軟性・体幹の強さなど】	松本大学
3	10/7 (日)	第73回福井国体見学【ホッケー・陸上競技】	福井市 越前町

	月 日	A 身体能力育成プログラム	B 知的能力育成プログラム	C 栄養学習プログラム	D 競技選択体験プログラム	保護者プログラム	場 所
4	10/20 (土)	体幹トレーニング		○ 食事をしながら講義	ラグビー	栄養プログラム 調理実習	松本大学
5	11/3 (土)	コーディネーション トレーニング	メンタルトレーニング			メンタルトレーニング	やまびこドーム
6	11/17 (土)	走トレーニング		○食事をしながら講義	陸上競技 球技に通じる走運動	栄養プログラム 調理実習	松本大学
7	12/1 (土)	メディカルチェック②			ホッケー	トレーニング論	やまびこドーム
8	12/15 (土)				ボウリング	オリンピックの保護者 講演会講師 奥原圭永 氏	城山ボウル
9	1/12 (土)	体力測定					東海大学
10	1/26 (土)	体幹トレーニング	語学教育		ウェイトリフティング		松商学園
11	2/9 (土)	コーディネーション トレーニング (球技)			フェンシング	栄養教育プログラム 講師 奥原秀子 氏	スカイパーク体育館
12	2/16 (土)	コーディネーション トレーニング (球技系)		○食事をしながら講義	ソフトボール (室内：ピッチング)	栄養プログラム 調理実習	松本大学
13	3/2 (土) 10:00~17:00	メディカルチェック③ 体力測定	プレゼンテーション学習 (発表・振り返り)			面談	松本市総合体育館

## タブレットと遠隔レッスンシステム※ を活用した遠隔指導の実施

※ソフトバンク株式会社が提供する「スマートコーチ」

遠隔地ジュニア選手への指導実現  
指導スキルの向上・均一化

生徒

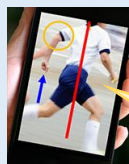


プライベートページ



コメントや動画で遠隔指導

コーチは、ジュニア選手が送ってきた動画に、ペン入れと音声での動画指導も可能



「肘をもっと高く上げて」

県指定強化コーチ



➤ スポーツジュニア育成  
プログラムでの活用

コーチとジュニア選手の間で、2週間に1回のリアル指導の合間を遠隔指導で補完

➤ 競技団体での活用

競技団体強化部と各地域のコーチの間で、指導方法などのやりとり

学校での部活動や体育授業等での活用も検討

# 競技力向上基本計画について

## 1 基本計画の位置付け

この計画は、2027年に開催される第82回国民体育大会において、県民の期待に応え、開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も持続可能な本県の競技スポーツの振興を目指すための具体的取り組みを示した指針。

## 2 基本計画の対象となる期間と目標

本計画では、計画期間を次の4期間に区分し、段階的に競技力の向上を図る。

- ・ 育成期（2019年度～2021年度）
- ・ 充実期（2022年度～2024年度）
- ・ 躍進期（2025年度～2027年度〔第82回国体開催年度〕）
- ・ 定着期（2028年度〔第82回国体開催後〕以降）

## 3 競技力向上に必要な4つの視点と主な取り組み

### （1）組織強化

- ・ 競技力向上対策本部での強化対策事業の企画・立案・進捗管理
- ・ 各競技団体が行う強化活動について、成果・課題等の分析 等

### （2）指導者養成

- ・ 有望若手指導者の指導者研修会等への派遣
- ・ 国内外のトップレベルコーチを招聘した研修会開催 等

### （3）選手育成

- ・ ジュニアアスリート発掘・育成によるスポーツ人材の育成
- ・ 女性アスリートの育成支援 等

### （4）環境整備

- ・ 競技団体と地域スポーツ関係者が連携した強化拠点地域構築のための支援
- ・ 特殊競技用具の整備、充実 等

## 4 策定期間

平成31年3月（予定）